



## 中村鴈治郎

なかむら・がんじろう

四代目 成駒家

坂田藤十郎の長男。昭和 42 年に初舞台の後、平成 7 年に五代目中村翫雀を襲名。今年の 1 月と 2 月に大阪松竹座で四代目鴈治郎を襲名。1 月の襲名狂言は、家の芸でもある『廓文章』の伊左衛門と『封印切』の忠兵衛。初役で勤めた伊左衛門では、はんなりとした上方の味わいを見せた。そして翫雀襲名以来、何度も勤めている忠兵衛では、忠兵衛の悲哀に深みが増した。2 月『傾城反魂香』の又平は、曾祖父の初世鴈治郎型で演じ、成駒家の芸を継承する。今後の上方歌舞伎の担い手である。



## 坂田藤十郎

さかた・とうじゅうろう

四代目 山城屋

二世中村鴈治郎の長男。昭和 16 年に二代目中村扇雀を名のり初舞台。平成 2 年に三代目鴈治郎を襲名した後、平成 17 年に四代目藤十郎を襲名。名実ともに上方和事の継承者となる。今年は長男の四代目鴈治郎襲名披露で、『廓文章』の夕霧、『曾根崎心中』のお初を勤めた。お初は、扇雀時代の初演時から 1300 回以上勤めた当たり役。年を重ねても初々しさや色気を失わず歌舞伎界を牽引する。近松作品をはじめ上方歌舞伎の復興に生涯を捧げる役者人生である。



## 市川左團次

いちかわ・さだんじ

四代目 高島屋

三世市川左團次の長男。昭和 22 年に五代目男寅を名のり初舞台の後、昭和 37 年に五代目男女蔵を襲名。昭和 54 年に四代目左團次を襲名。大柄で貫禄があり、愛嬌も備えた立役。本領は時代物の敵役で、『実盛物語』の瀬尾は憎々しさだけでなく、その後の情が一入で、義太夫狂言の本質を捉える。また、『熊谷陣屋』の弥陀六など老け役も円熟味を増す。他方、『身替座禅』の奥方は、怖さと愛らしさを絶妙なバランスで見せる。強い存在感のある役者。



## 中村扇雀

なかむら・せんじやく

三代目 成駒家

坂田藤十郎の次男。昭和 42 年に初舞台の後、平成 7 年に三代目中村扇雀を襲名。父の芸を受け継ぎながら、女方と立役を兼ねる。昨年の『藤十郎の恋』では坂田藤十郎役を勤め、芸のために生きる役者の利他的な恋と空虚感を表現した。兄の鴈治郎襲名狂言『封印切』では、兄が勤める忠兵衛を相手に梅川をはかなく演じた。また『対面』では和事の十郎を品良く勤め、『囀山姥』の八重桐では、意欲的に父の型に挑んだ。兄とともに今後の上方歌舞伎を担う。



## 市川男女蔵

いちかわ・おめぞう

六代目 滝野屋

四代目市川左團次の長男。昭和 48 年に初お目見得の後、翌年に六代目男寅を名のり初舞台。平成 15 年に六代目男女蔵を襲名。最近父の芸を継承しながら、脇役を忠実に勤めあげ、将来が期待される立役。『毛谷村』では、敵役の弾正と朴訥な柚という対照的な二役を演じてみせた。また『金閣寺』の軍平では堂々とした勇ましさを見せ、『女暫』の成田五郎では端敵の腹出しを大らかに演じた。『黒塚』の山伏も佇まいが印象的。父と同様のスケール感が楽しみな役者。



## 中村亀鶴

なかむら・きかく

二代目 八幡屋

初世中村亀鶴の長男。祖父は四世中村富十郎、祖母は初世中村鴈治郎の娘。昭和 51 年に初舞台の後、平成 3 年に中村芳彦を名のり、平成 13 年に二代目亀鶴を襲名。平成 21 年から坂田藤十郎一門。古風な顔立ち、口跡の良さで花形世代における貴重な立役。昨年の『魚屋宗五郎』では奴三吉を軽快に勤め、『鳥辺山心中』では硬派な坂田源三郎を勤めた。今年の『対面』では朝比奈の滑稽味を身体中で表現した。芸域の広さと確かな技術が強みである。



## 中村壺太郎

なかむら・かずたろう

初代 成駒家

中村鴈治郎の長男。平成3年に初お目見得の後、平成7年に初代中村壺太郎を名のり初舞台。昨年、日本舞踊吾妻流七代目の家元として吾妻徳陽を襲名。幼少時から舞踊をはじめ邦楽の基礎に支えられた真摯な芸が魅力の若手女方。今年父の襲名披露興行で精力的に活躍中。『河内山』では腰元浪路を可憐に勤め、『京人形』では艶やかな人形の精を演じ、『四の切』では美しい静御前を堂々と勤めた。父との共演『連獅子』では息の合った踊りを見せた。



## 中村虎之介

なかむら・とらのすけ

初代 成駒家

中村扇雀の長男。平成13年に初お目見得の後、平成18年に初代中村虎之介を名のり初舞台。くっきりした目鼻立ちと愛らしい仕草で、同世代にも人気の17歳。昨年は、『ちいさんばあさん』の短気な久右衛門、『勢獅子』の粋な鳶頭、『鬮賣』の傾城滝の井、『先代萩』の忠臣山中鹿之助を、いずれも初々しく演じた。今年の『対面』の八幡三郎は柔らかみをもって演じることができ、今後も様々な役柄を経験しながら、芸道に精進することに期待される。



## 中村寿治郎

なかむら・じゅうじろう

初代 成駒家

二世中村鴈治郎に師事し、昭和27年に中村鴈好を名のり初舞台。昭和33年に二代目中村扇雀（現・坂田藤十郎）門下となり、昭和46年、中村扇豊と改め名題昇進後、平成7年に寿治郎に改名。今年1月に幹部昇進。60年以上の長い舞台歴を持つベテラン脇役。『曾根崎心中』の下女お玉や『封印切』の阿波の大尽、『河庄』の善六など、上方歌舞伎の雰囲気醸し出し、独特な存在感が印象的。